

育ちの芽



副園長 奥村 綾

～たなばた遊び～

7月5日朝ピロティの上に天の川が流れ、星がたくさん輝いていました。登園して気づいた子ども達は、見上げながら「なにこれ～?」「きれい～」と言っている子や、じっと眺めている子もいました。2Fのホール前に星が一つ落ちていて、「空から降ってきたのかな?」「流れ星だー」と喜んでいる子もいました。

幼稚園に大きな笹が届きました。お部屋で作っていた笹飾りをつけたり、短冊に願い事を書いて飾ったり・・・。「プリキュアになれますように」「からあげ食べたい」「パパとママと遊べますように」「ウルトラマンになりたい」「服とかいっぱいほしい」「パパより強くなれますように」等々、子ども達の願い事は様々です。

7月7日、園庭に織姫と彦星が登場し、
天の川を渡って会おうとしましたが、...

「おりひめさーん」

「ひこぼしさーん」

星が一つもなく、天の川を渡れません。

「園庭に星が落ちているかもしれないから、



みんな集めて天の川へ持って来てー」と織姫が声をかけると、子ども達は、園庭のあちらこちらにあったお星さまをすぐに見つけて天の川へ集め、星いっぱいの天の川になりました。

無事に織姫と彦星は会うことができ、みんな笑顔でたなばたさまの歌を歌いました。

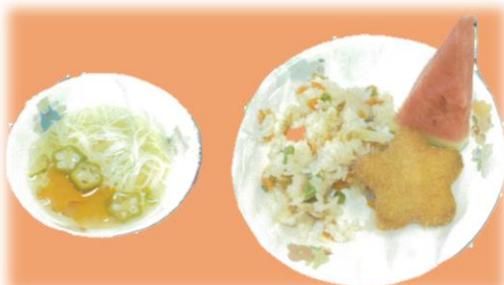
歌い終わった時に、しろ組の子ども達がマイクで、

「みなさん外に出てください。」「今から七夕のお願いごとをします。」

「空に向かってお祈りしましょう。」「まぶしい人は我慢してください。」

とみんなに伝えてくれました。

園庭にいた子ども達は、言われた通りに空を見上げ、手を合わせたり、大きな声でお願い事をしたりする姿はとても可愛らしかったです。



給食は、星形のコロッケ、星型の人参やおくらが入ったにゅうめん等、星がたくさん『たなばたメニュー』。

子ども達は嬉しそうに、「わあー星いっぱいやー」「星のコロッケやから絶対おいしいわ」と言いながら、いつもは少食の子も、「おいしいー」と言ってたくさん食べていましたよ。

7月7日、幼稚園は七夕一色になり、みんなで楽しく、

七夕の雰囲気味わうことができました。



～夏祭り～

育ちの芽 29号でお知らせした通り、年長組では『夏祭り』を企画中です。このような活動を通して、「自分の考えを主張する自主性」「友達の意見を聞き、話し合っって進めていく協調性や協同性」「自分たち自身で目的を見つけ出す探究力」「わかりやすく伝えようとする表現力や言語力」「どんな段取りで実行するか周囲を見ながら調整していく力」「企画する力」

「共同活動の中で自分の役割を見出し理解できる力」等、様々な力が育ちます。

『夏祭り』で『花火』がしたいとしろ組から意見が出ました。子ども達のアイデアで、パラバルーンを使って花火をあげるパフォーマンスをすることになりました。キラキラの花火玉をたくさん作り、園庭やホールで、音楽に合わせて一生懸命練習する姿がありました。子ども同士で声をかけ合い、音楽のカウントを取りながらタイミングを合わせて花火を打ち上げます。うまく花火が上がらなかった時には、動画で確認し、どこが良くなかったか、どうしたら上手く打ち上がるか等、話し合いが繰り返されていました。

また、焼きそば、りんご飴、かき氷、ソーセージ等、本物と見間違えるくらいおいしそうな食べ物が屋台に並べられ、お祭り当日を楽しみにする姿がありました。

7月11日、祭りプロジェクトチームのメンバーから「7月14日にお祭りが始まりますよ。」「園庭でやります。」「雨ならホールでします。」「年中さん、年少さんぜひ来てください。」と園内放送が入りました。

それと同時に、「14日にお祭りをするので来てください。」と、各クラスに招待状が配られました。年中、年少の子ども達は、放送を静かに聞いていて、招待状をもらって「お祭りやってー」と喜んでいました。

準備が整いつつあったそんな中、幼稚園では、欠席者が増え、4クラスが学級閉鎖となり、楽しみにしていたお祭りも延期せざるを得ない状況となりました。

そのことを担任が年長の子ども達に伝えると、「しかたないね」とすぐに納得したクラスもありましたが、「しゃべらんかったらいいやん」「マスクしてやる」「口に入れないでくださいって書いといたらいいねん」と、どうしても実行したい！という思いの子ども達がたくさんいるクラスもありました。

担任が、みんなの意見の中にあつた『おうちの人達を呼びたい』っていう願いは、今お祭りをするとすると、おうちの人都合もあって呼ぶことはできないけれど、お祭りが延期になって9月にすることになれば、おうちの人を呼べるかもしれないと伝えると、

「そうなん!? やったー」「じゃあ9月にしよ!」「おうちの人に来てもらおうー」

と子ども達の意見は急展開! おうちの人達に見てもらいたいという思いが溢れていました。

手をケガして、ギプス固定している園児は、

「それやったら俺のこれ(ギプスを指差し)も取れてるから両手でパラバルーン持てるわ!」

と喜んでいました。

※年長組の保護者の皆様のご招待日は9月16日(金)を予定しています。詳細は後日お知らせします。

今回、自分達で企画し、実行目前に延期という、思い通りにいかないことを経験し、自分の気持ちを調整する力も身についたのではないのでしょうか。

大人が意見やルールを押しつけるのではなく、子ども達が経験し、考えるステップがとても重要だと思います。今後も、子どもの意見やアイデアに耳を傾け、とことん寄り添い、遊び込むことができる環境の中、学びや体験を重ねることで、豊かな発想や自信を備え、『学びに向かう力』を高めていきたいと思ひます。

『花火』のパフォーマンスだけはすぐに見てもらいたい!!というしろ組さんの思いを届けます!!



☆19日にひじり tube『花火』を配信予定